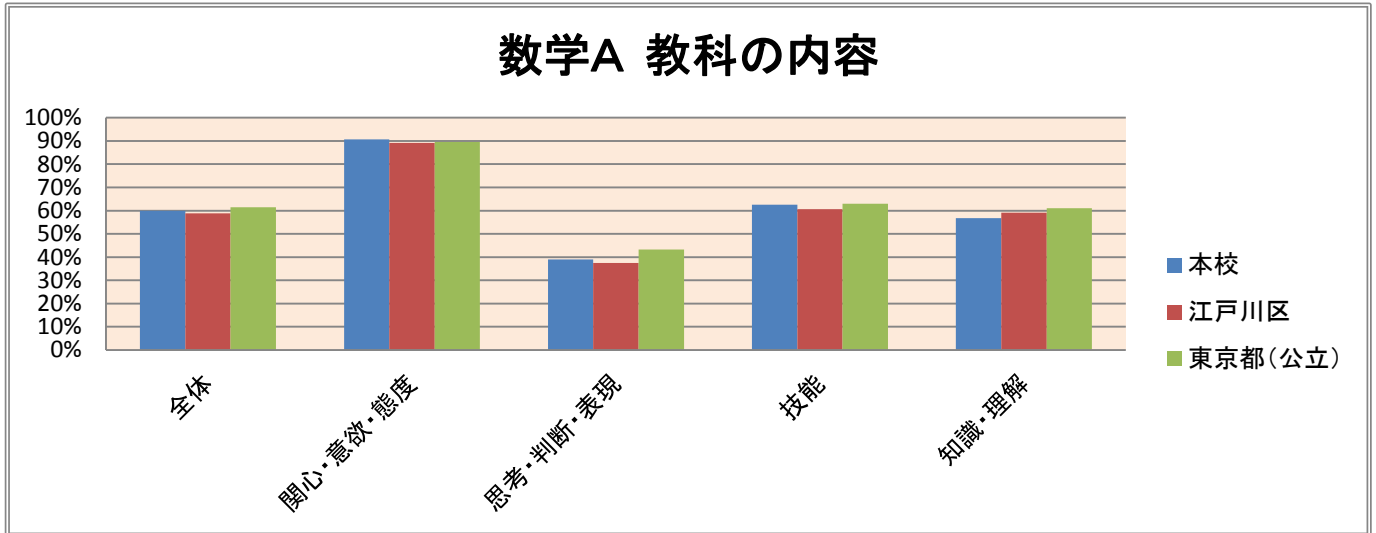


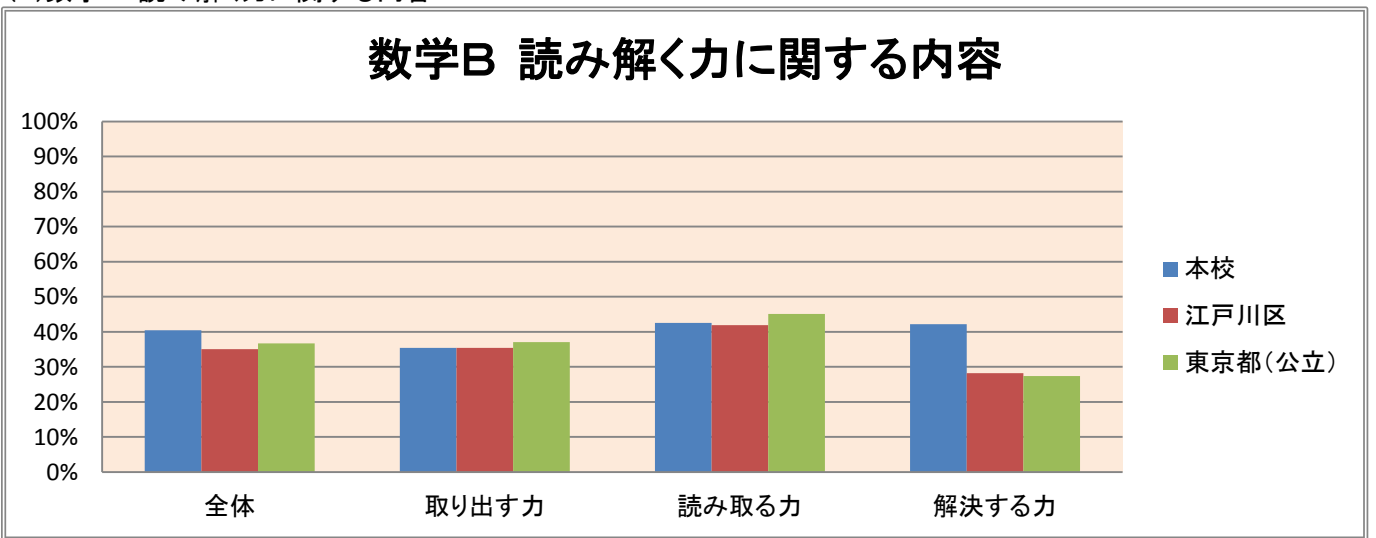
1. 分類ごとの平均正答率

(1)数学A:教科の内容



本校の正答率は、全体としては概ね都の平均に近い結果でした。各項目ごとの分析を行うと、「関心・意欲・態度」、「技能」に関しては都の平均またはそれ以上の数値でありましたが、「知識・理解」に関しては、やや低い結果となっています。

(2)数学B:読み解く力に関する内容



数学Bの結果としては、都の平均よりも高い数値を出すことができました。各項目の分析を行うと、「解決する力」については都の平均に比べ10%も高い結果が得られた反面、「取り出す力」や「読み取る力」については、都の平均を下回っている結果となっています。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

「知識・理解」の部分上げるために、既習事項の確認や反復演習を行う必要があると考える。具体的には、計算コンテストの問題に知識・理解を問うような問題を入れ込むことが改善案として提案できる。

また、数学Bの結果から、「取り出す力」や「読み取る力」が低いことが判明したため、文章の長い問題に触れる機会を増やして行く必要があると考える。具体的には、単元テストや考査で見慣れない問題を増やし、応用力を培うことや、章末の授業で発展的な内容に触れることが改善案として提案できる。